

国際交流員ザブリーナ・リンのコラム

クリスマス



魔女が住むお菓子の家

12月といえばクリスマスの時期ですね！ 今年では日本で過ごす3回目のクリスマスです。初めて家族と離れて過ごしたときは、ちょっと寂しいかなあと思いましたが、友達とても楽しいクリスマス・イブを過ごしました。その前のショッペンゲ中、ジンジャーブレッド (Lebkuchen) の「ヘクセンハウス」(Hexenhaus)の手作りセットが目にとまりました。ドイツのパン屋さんなどではクリスマスの時期にそのお菓子の家がよく売られます。自分で作ってみたら面白いと思って買ってしまいました



ただ、必要な道具を全く持っていなかったのが、上手に作れませんでした。買う前に確認しておけばよかったですね。でも、ヘクセンハウスとしては大失敗だったのに、何とか美味しいクッキーになったのは、逆に面白い思い出であります(笑)。でもヘクセンハウスとクリスマスはどういう関係があるのかについては、今まで意識したことがなかったもので、考えてみました。クリスマスは童話 (Märchen) の時期であり、童話の演劇が多く上演され、テレビでもいろいろな童話の映画が放送されます。ヘクセンハウスは確かに童話の「ヘンゼルとグレーテル」と関係があります。時々、ヘクセンハウスの前に二つの子どもの人形や魔女の人形を置きます。このようなお菓子の家はドイツだけでなく、ヨーロッパや英語圏の国でも知られています。

ちょっと怖い？ クネヒト・ループレヒト

クリスマスだと隣人愛や自分を省きみることも大事なので、童話によって伝えられた道徳 (モラル) も大事だと思います。年齢によって違いますが、ドイツの子供たちの多くも分かります。そういうえば、クネヒト・ループレヒト (Knecht Ruprecht) はご存知でしょうか？

日本のなまはげとちょっと似ていると思います。クネヒト・ループレヒトは、12月6日に聖ニコラウスとともに現れる、怖そうな従者です。地方によって見た目と名前が違いますが、一般的な姿としては、黒か茶色のコートを着、髪は長く、体罰を与えるための鞭 (ロッド) を持っています。子供たちがプレゼントをもらう前に聖ニコラウスは子供たちの良いまたは悪い行動を読み上げます。

その時に、良い子はすぐにプレゼントをもらえるのですが、悪い子はプレゼントをもらう前に、クネヒト・ループレヒトから懲らしめられるのです。子供の頃は結構怖かったですよ。皆さんこの一年はどうでしたか？ プレゼントはもらえそうですか？

それでは皆さん楽しいクリスマスをお過ごしください！ では、良いお年を！



Quelle:www.Bilderkiste.de

小さな明かりで彩る クリスマスグラスキャンドル

石橋駅前時計塔のキャンドルライトアップを実施します！

昨年実施した石橋駅前時計塔周辺のキャンドルライトアップを今年も行います。約1,000個のグラスキャンドルが石橋駅前を彩ります。

●実施日時

12月3日(土)・17日(土)・24日(土)
午後5時～9時

初日の12月3日(土)には地元・寿町こどもお離子会の演奏やドイツの冬の風物詩・グリニューワインの販売も予定しています。

●問い合わせ先

下野市国際交流協会
(生活安全課内)
☎(40)5555

